

農作業の共同化、機械の共同利用によるコスト削減

米を含めて地域農業の受け皿組織となるとともに、経営の高度化を促進。

【類型】

水稻

+

麦

+

大豆

みやのじん

【組織名】 宮ノ陣営農組合（平成9年4月設立）

＜任意組織（特定農業団体と
同様の要件を満たす組織）＞

【所 在】 福岡県久留米市

【農業地域類型】 都市的地域

【構成農家戸数】 159戸

【経営規模】

水稻 120ha

麦 192ha

大豆 93ha



コンバインによる刈り取り風景

設立の経緯

- 米の生産調整に対応したブロックローテーションを実施し、**高性能の機械を共同利用するなど農作物の生産コストの軽減**を実現しながら効率的な営農を進めるため、任意組織を平成9年に設立。

取組の特徴・効果

- **4集落の農地面積の約9割を集積**する久留米市内最大の集落営農組織。参加農家数も設立時から約1割増加し地域農業の中核と位置付け。
- ブロックローテーションに取り組むとともに、**土地利用型作物の農作業受託を中心に規模拡大し、大型農業機械の共同利用によるコスト低減を実現**。
- 権利設定を明確にするとともに社会保障制度の充実を図るため、オペレーター部会を法人化（（有）宮ノ陣オペレーターユニオン）。これにより、**農作業の受け皿としての役割が明確化**。
- 組織内には園芸や畜産の認定農業者も多く存在し、オペレーターや役員としての役割を発揮。